

NEWS RELEASE

**富士フイルムホールディングス
「第8回サステナブルファイナンス大賞」で最高位の「大賞」を受賞**

2022年12月22日

富士フイルムホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤禎一）は、一般社団法人環境金融研究機構が主催する「第8回サステナブルファイナンス大賞」において、当社が発行したソーシャルボンド（社会貢献債）が高く評価され、最高位となる「大賞」を受賞しました。

「サステナブルファイナンス大賞」は、環境問題などを金融的手法で解決する「環境金融」の普及・啓発を目的として、日本での環境金融・サステナブルファイナンスの発展に貢献した企業などを表彰するものです。

2022年4月に、当社は、アンメットメディカルニーズ^{※1}への対応や医療アクセス向上に資するバイオ CDMO^{※2} 事業にかかる資金調達手段として国内最大規模^{※3} となる1,200億円のソーシャルボンドを発行しました。がんや難病などのアンメットメディカルニーズへの対応や新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大によるワクチン需要の増大など、バイオ医薬品^{※4} に対する需要は世界的に拡大しています。当社は、高品質なバイオ医薬品のグローバルな安定供給実現に向けた取り組みのためにソーシャルボンドの発行を決定しました。

富士フイルムグループは、CSR計画「サステナブルバリュープラン2030」において「健康」を重点分野の一つと定め、ヘルスケアにおける予防・診断・治療すべての領域で、最先端の製品・サービスのグローバルな提供を通じて、医療格差を是正し、健康的な社会を作ることを目指しています。



※1 有効な治療法が確立されていない疾患に対する医療ニーズ。

※2 Contract Development & Manufacturing Organization の略。薬剤開発初期の細胞株開発から生産プロセス開発、安定性試験、治験薬の開発・製造、市販薬の製造までの幅広いサービスを製薬企業などに提供する。

※3 12月22日時点で、ソーシャルボンドとして国内で発行された社債において最大規模。当社調べ。

※4 低分子医薬品では実現できない作用を持つ、たんぱく質などの生体分子を活用した医薬品。インスリンや成長ホルモンなどのタンパク製剤の他に、ワクチン、抗体医薬品、遺伝子治療薬などを含む。

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

【報道関係】 富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
TEL 03-6271-2000